

ムクロジ

Sapindus mukurossi Gaertn.

ムクロジ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数もごく少ない。(現況:RO)

形態

落葉高木で、樹高25m、径1mに及ぶ。葉は大きい偶数羽状複葉で小葉は全縁、狭長楕円形で表裏ともに無毛。花は黄緑色で小さく、枝先に大型の円錐花序をつくる。果実は球形、径約2cm、秋には黄褐色に熟し、一方の側には発達しない心皮がつのようについでいる。

国内分布

本州(茨城・新潟県以南)、四国、九州、沖縄諸島。本県が北限となるが、本来の自生が疑わしい。

県内分布

外浦区、南加賀区。

生態など

花期は6月。核果は10～11月に熟す。堅くて黒い種子は、正月のはねつきのはねにつける球に用いられ、また、果実の皮はサポニンを含み、せっけんの代用にされた。

生育環境

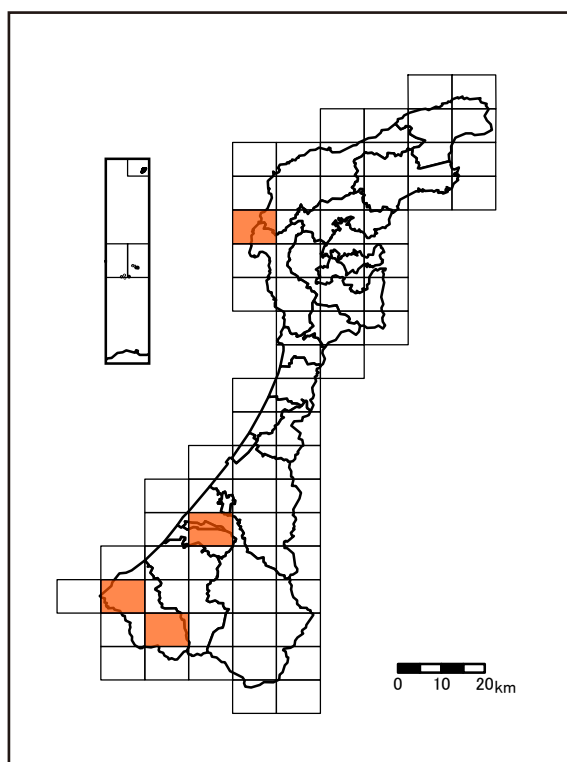
社叢、山地。

危険要因

森林伐採、管理放棄、自然遷移、産地局限。



米山競一・2006年7月1日



県内の分布